

飯山市家庭ごみ組成調査結果（令和7（2025）年8月実施）

家庭ごみの排出状況を把握するため、ごみステーションから無作為に回収したもえるごみ（50 袋分）の組成調査を行いました。

調査結果

- ・食品廃棄物は全体の 53.7%を占め、その内食べ残しや手付かず食品などの食品ロスは 14.4%を占めていました。
- ・もえるごみと別に収集している資源物は 15.1%を占めており、特に古紙類とプラスチック製容器包装が多く混入していました。
- ・空き缶やガラスびん等のもえないごみは 0.1%混入していました。

資源物の正しい出し方

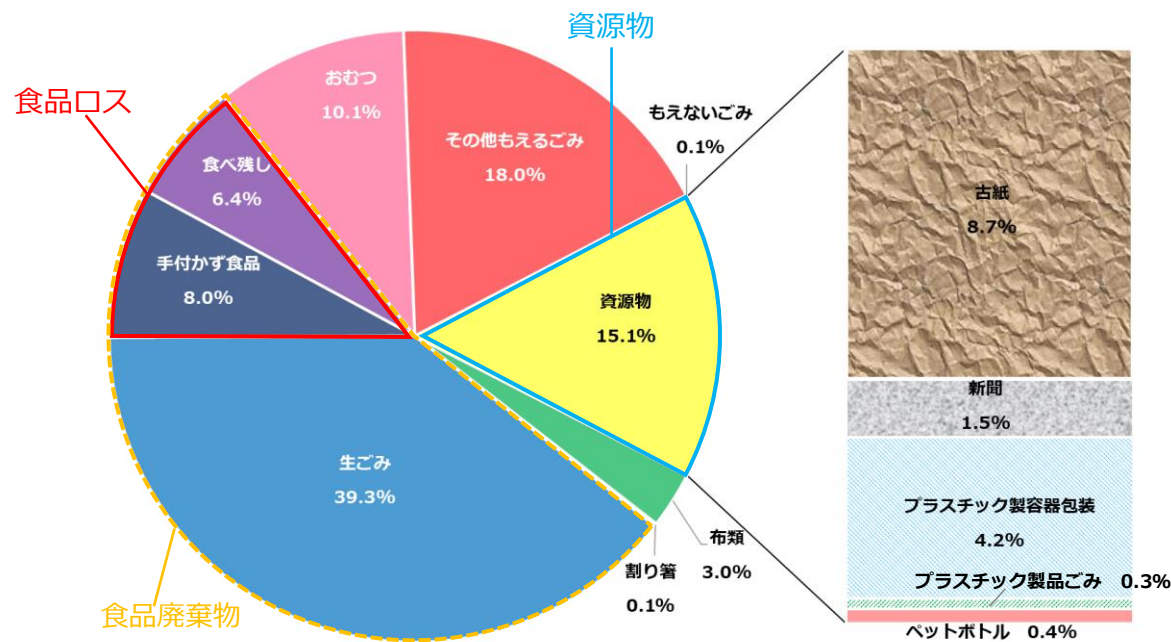
古紙類

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、その他の紙類は、種類ごとにひもでしばり、古紙の収集日に出しましょう。なお、「その他の紙類」は、紙袋等に入れたうえで、中身が出ないようひもでしばって出しましょう。



プラスチック製容器包装

分別の対象となるプラスチック製容器包装には「プラマーク」が表示されています。水洗いや拭き取りなどで汚れが落ちるものは、プラスチック製容器包装として分別しましょう。



生ごみの減量にご協力ください

- ・生ごみの約 8 割は水分です、十分に水切りを行うことで重量が軽くなり、日々のごみ出しが楽になります。
- ・夏場は食材が傷みやすい季節です。必要以上に食材を買いすぎない、料理を作りすぎないことを心がけ、手付かず食品などの食品ロスを減らしましょう。
- ・電動式生ごみ処理機を活用することも生ごみの減量に効果的です。



手付かず食品の中には、ほとんど手を付けられていないそうめんが出されていました。
(画像中の茶色い箱)